

東奥日報

4月24日(火)

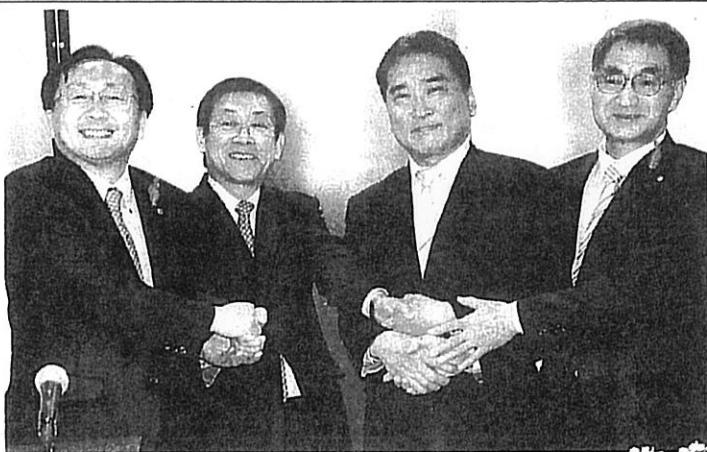
新たに19人雇用へ

光和コンピューター
青森に営業所開設

青森市に進出するコンピューターソフトウェア研究開発・販売会社「光和コンピューター」（東京都、柴崎和博代表取締役）と県、青森市は23日、同市のホテル青森で営業所の立地協定調印式を行った。同社は当初雇用する10人に加え、来年、新たに19人を雇用する方針であることを明らかにした。

調印式では、柴崎社長、三村申吾知事、鹿内市長

内博市長が協定書に調印した。同社青森営業所は、同市三内丸山の西部工



調印後に握手を交わす（左から）三村知事、柴崎代表取締役、青森営業所長の寺川光男専務、鹿内市長

業用地の既設の建物に入居。同社の新規事業として取り組む電子書籍化事業を実施する。具体的には、紙の書籍の電子化やデジタルデータを電子書籍に変換する作業、電子書籍販売システムの運用・保守を行う。また、書店店頭などで使う多機能端末の開発・製造・販売・保守や、電波による個体認識技術を応用し、企業・病院の入退室管理に使う情報システムの開発を行う。5月1日に操業を開始。初年度の売上高は5300万円を見込んでいる。柴崎代表取締役は「青森県、青森市の一員として少しでも役に立ちたい」と語った。（兼平昌寛）